

蒲江の岬と島々の自然景観

蒲江の岬と島々は、複雑な地形のリアス式海岸で、日豊海岸国定公園の代表的海景の地域です。出入りの多い海岸は、数多くの断崖を鼻として岬を突き出し、沖には島を浮かべています。その周辺には数えきれないほどの岩礁が基石のように散布され、激突する怒涛と相まって、優れた海景をひきたてています。こうした特徴的な地形や厳しい気候条件、水環境などの自然環境に耐えてきた海岸特有の植物群落や植物、動物などの生物環境が一体となって自然景観を形成しています。



深島西沖の離れ島 ソーノ礁



海食洞と洞門の絶景地 宇戸崎



名護屋湾と海上に浮かぶ深島



怒涛をかぶる岩礁

離れ島になった岩礁群

蒲江の岬と島々の近くには、海食により離れ島になった岩礁がたくさんあり、礁とよばれています。特に深島の東部と北部に多く、松礁、児宅礁、白礁、白礁、ソーノ礁などの名がついており、飛沫をかぶりながら勇壮な姿を海岸にあらわします。

絶景にうっとりする海食洞門

蒲江の岬と島々には、海水の侵食による海食崖や海食洞があちこちにみられますが、波当津地先の宇戸崎突端部には、海食洞が貫通した海食洞門があります。洋上に突っ立つ洞門は、ぽっかりあいたトンネル越しの海面、空、崖の景観と相まって、日豊海岸随一の絶景です。

厳しい環境を耐え抜いた植物たち

出入りの多い複雑な地形、断崖絶壁、薄い表土、強い海風、波の飛沫などいずれも厳しい環境を耐え抜いて生きている植物たち。これが日豊海岸の海岸植生と植物相の特徴です。



崖にしがみつく海岸低木林



池の浦の海浜植物群落

多様な植物群落と豊かな植物相

砂浜のハマゴウ群落、コウボウムギ群落、崖地のハマウド群落、イソヤマテンツキ群落や崖斜面のハマヒサカキ、シャリンバイなどの低木林、塩湿地のカモノハシ群落などはその代表です。

水際からやや離れて群落をつくるもの、崖地にしがみつくような低木の群落、岬や島の谷部にうっそうと繁る常緑広葉樹林にいたるまで、たくましい生命の息吹を感じさせる植生景観ばかりです。

厳しい環境にもめげず、シダ類、種子植物あわせて129科677種が確認されています。このうち分布上特記される植物は、ハマホラシノブ、クズモダマなど76種があげられます。



渡り鳥の通り道 入江・岬・島

岬や島々は鳥たちの通り道

蒲江の岬や島々は渡り鳥の移動コースにあたります。春先にやってきて秋に南に渡る夏鳥のツバメ、オオルリ、秋にやってきて春に北の方に渡っていく冬鳥のジョウビタキやセグロカモメなどはその代表です。また、通り道にする旅鳥など年中野鳥のにぎやかなコースです。